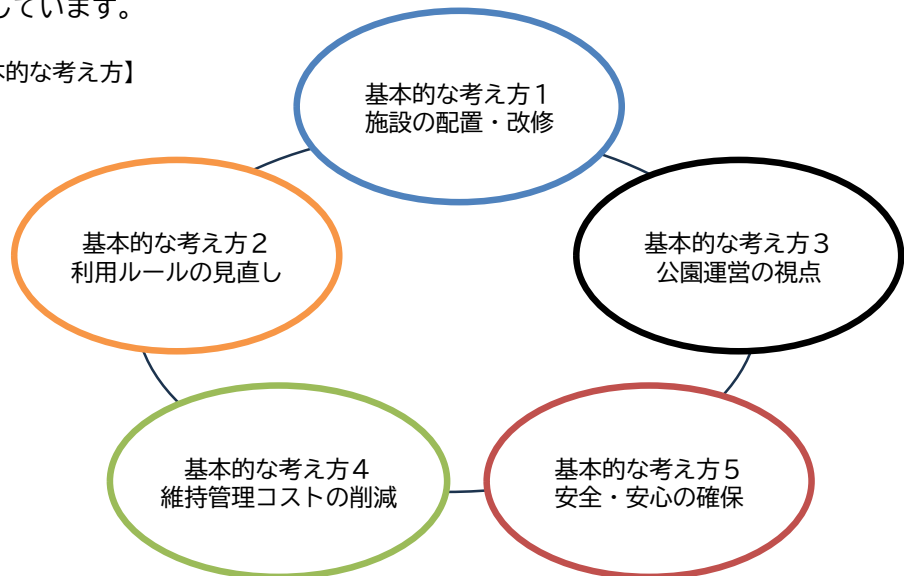


中央西公園 再整備プラン（基本設計）

基本設計の背景

基本的な考え方と取り組み方針は、「中野区公園再整備計画」に基づき、以下の通り実施しています。

【基本的な考え方】



【4つの機能】

わくわく、にぎわい機能
・幼児遊具
（滑り台、シーソー等）

いきいき、すこやか機能
・健康遊具
・広場スペース

のんびり、やすらぎ機能
・四阿・テーブル・ベンチ等
・みどりの保全と創出

だれでも、快適便利機能
・ユニバーサルデザインに対応した
トイレ、水飲み等

子どもから大人まで楽しめる「魅力ある中央西公園づくり」を目指す

住民参加による意見聴取

区では中央西公園の改修に伴い、オープンハウスやワークショップ等、利用者の意見を公園づくりに生かすことを目的として実施しています。

■出張授業



■オープンハウス



■ワークショップ



再整備プラン（基本設計）

中央西公園のテーマ及び基本方針は、ワークショップ等で決定した公園改修プランとの整合性を図り、以下の通りとしました。

テーマ：四季の変化が感じられて、散策や健康づくりの出来る公園

【現状・特徴と利用ニーズ】

- 旧屋敷の多種多様な植物があり、四季の変化を感じられる環境がある。
- 道路沿いの常緑樹により、公園内が暗く見通しが悪くなっている。
- 親子連れの遊具利用や高齢者の休憩・買い物途中の立ち寄り、町会のイベントなどに幅広く利用されている。
- 公園中央には、捻じれのある特徴的なソメイヨシノがある。
- 「子供の安全な遊び場」や「自然・生き物とのふれあい」を求める声が多く、多世代から自然に親しめる公園づくりが求められている。

【主な改修点】

- サクラをシンボルツリーとし、周囲に原っぱを整備
- 多目的広場を拡幅
- 散策利用を考慮した周回園路を導入
- 公園内の一体化を図り、休憩スペースとしてパーゴラを整備
- 砂場、すべり台、ブランコ、シーソーによる遊び場を整備



再整備完成イメージ（公園全体）

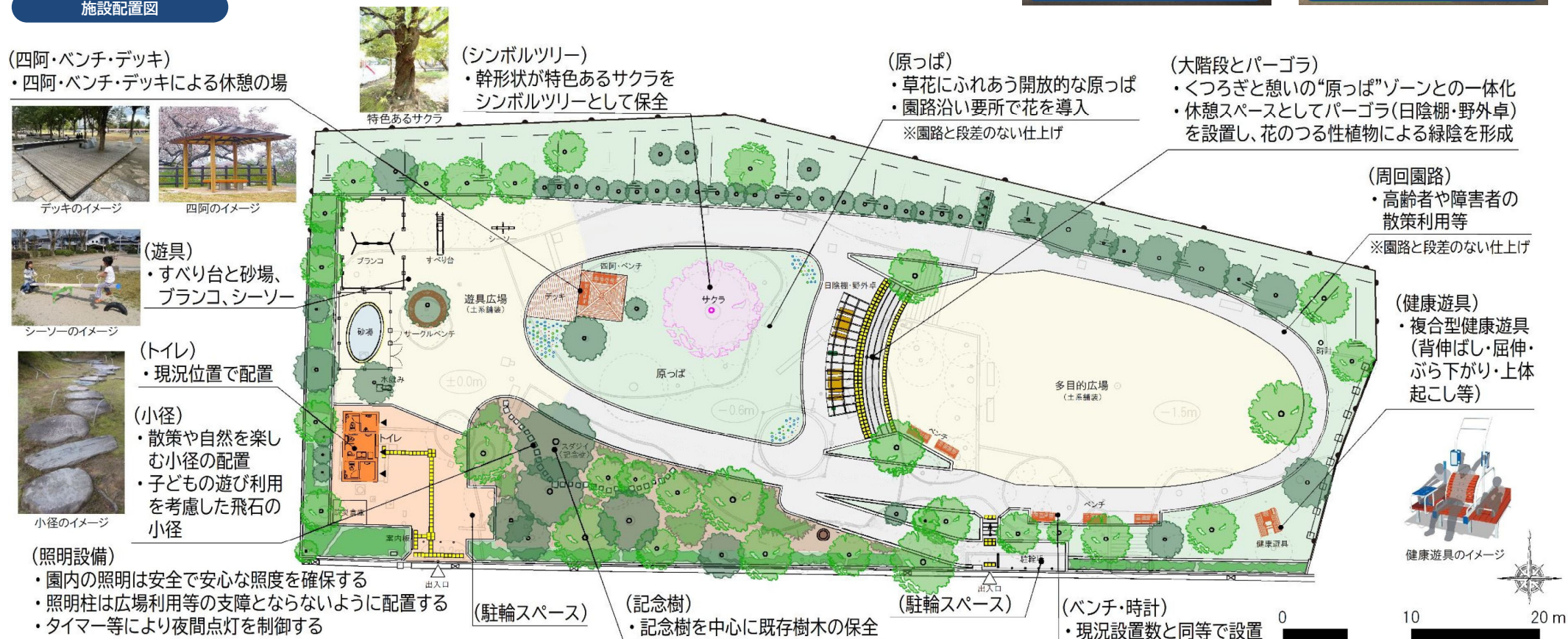


多目的広場から原っぱ方向を望む



北側園路から原っぱ方向を望む

施設配置図



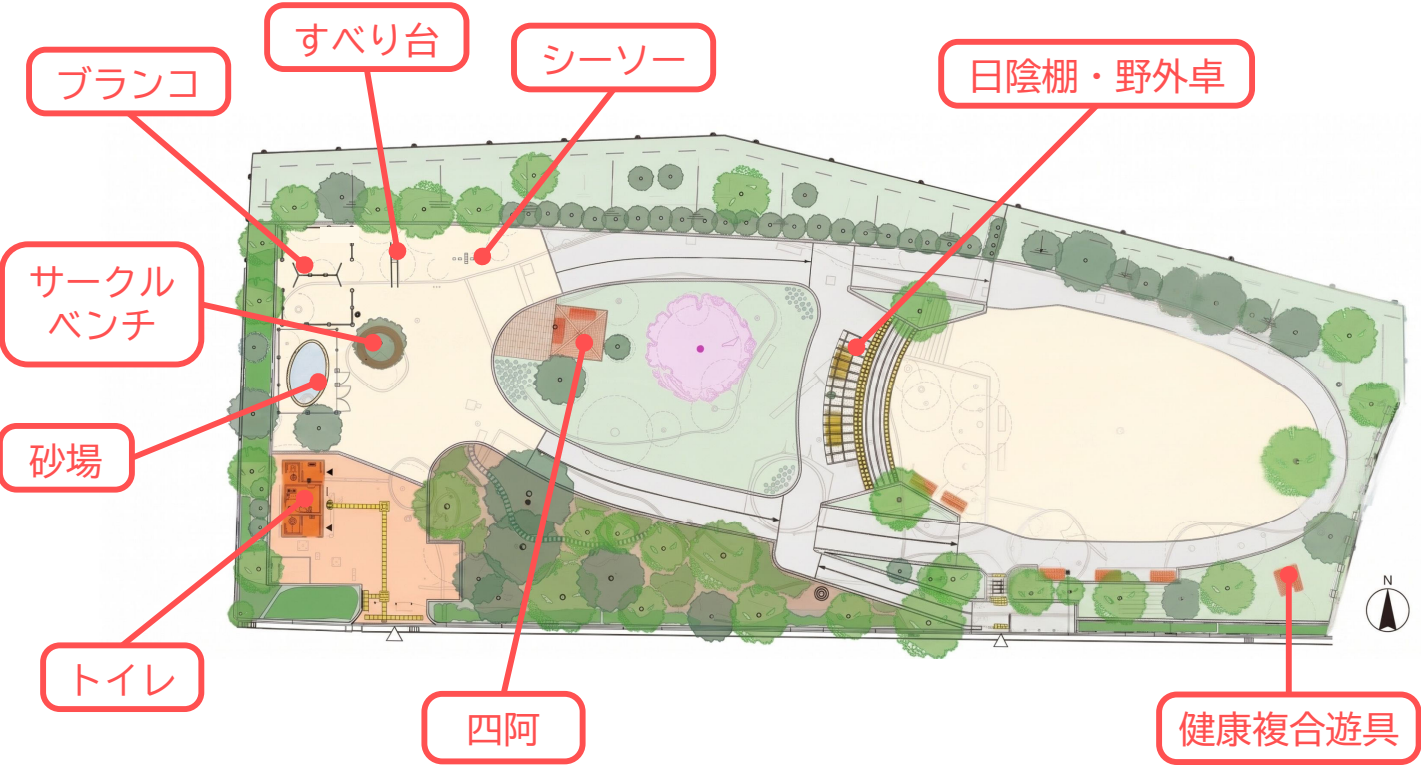
※本プランは基本設計時点のものです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

中央西公園 導入する遊具・施設

今回の公園整備では、以下の遊具・施設の導入を計画しています。
このうち、「★アンケート」と記載のある項目について、どのタイプが良いかシール投票を行っています！
各カテゴリーの中から、使ってみたい・設置してほしい番号にシールを貼ってください。

※各遊具・施設の図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます。

導入する主な遊具・施設



休憩施設・トイレ

野外卓イメージ



サークルベンチ
イメージ



日陰棚イメージ



四阿イメージ



トイレイメージ



すべり台 ★アンケート

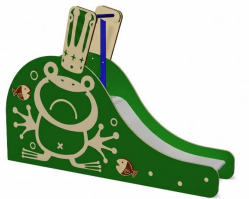
イメージA



イメージB



イメージC



シーソー ★アンケート

イメージA



イメージB



イメージC



健康複合遊具 ★アンケート

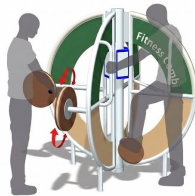
イメージA

- ステップ
- ストレッチ
- ぶら下がり
- 上体ひねり
- 足踏み



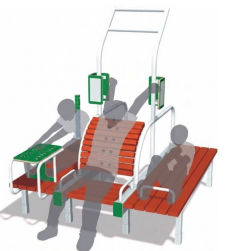
イメージB

- ストレッチ
- 肩回し
- 足踏み
- ツイスト
- ステップ



イメージC

- 背のばし
- 腹筋
- ぶらさがり
- 長座体前屈
- 上体そらし



ブランコ

ブランコ
イメージ



砂場

砂場
イメージ



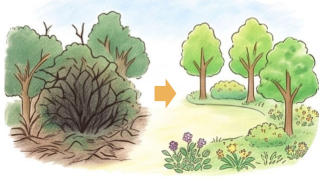
中央西公園 公園を安心・安全に使うために

樹木整理の考え方

地域の皆さんに安心・快適に過ごしていただくため、大切な緑を残しつつ、暗さや事故の原因となる危険な木を計画的に整理・更新していきます。

考え方① 利用者の安全確保

倒木のリスクがある木や見通しを遮る木を整理し、誰もが安心して利用できる明るい環境を整えます。



考え方② 施設や隣地への配慮

遊具・ベンチへの干渉やお隣の敷地への枝・落ち葉の飛び出しを防ぐため、適切な配置と管理を行います。



考え方③ 大切な樹木の保全

シンボルツリーのサクラなど、工事の影響がない樹木については、可能な限り残します。



～樹木の健全度～

現況の樹木のうち、元気がない樹木（レベル3～5）をなくします。

レベル1 - とても元気

- ・成長が旺盛
- ・葉が青々と茂っている
- ・形が整っており、バランスが良い

レベル2 - 元気

- ・成長が良い
- ・葉が少し少なくなっている
- ・形に少し乱れがある

レベル3 - 問題が見られる

- ・成長が遅くなっている
- ・葉が薄い
- ・枯れ枝が見える
- ・形不均一

レベル4 - かなり弱っている

- ・成長が悪い
- ・葉が非常に少ない
- ・枯れ枝が多い
- ・形が悪く、バランスが崩れている

レベル5 - 枯れている、または枯れかかっている

- ・葉がほとんどない、または全くない
- ・大部分が枯れ枝と幹だけ

植栽整備方針

（緩衝植栽：北側住宅沿い）
ご近所への目隠しとして樹木を植えつつ、暗い印象にならないよう季節を感じる木々をバランスよく組み合わせる。

（原っぱ）
子供が元気に駆け回れる原っぱを整備。

（境界植栽：西側）
現在の緑を活かしながら、弱っている樹木を新しく植え替え。

（林地植栽）
記念樹やモミジなどの木々を守りつつ、弱った木を植え替えて見通しの良い安心な空間に整備。

（境界植栽：道路沿い）
季節の花を楽しめる背の低い木を並べて明るい空間を整備。

（サクラ）
適切な手入れをしながら、公園のシンボルとして保全。

（景観植栽：階段付近）
空間が変化する場所の目印として、姿の美しい木を対で配置。

（景観植栽：多目的広場）
広場のシンボルとなるよう、立ち姿がきれいな木を配置。

（緑陰植栽）
季節を感じられる落葉高木を植えて、ベンチなどの周りに心地よい木陰を創出。

（日陰棚植栽）
パーゴラにつる性植物を絡ませ、涼しい日陰スペースを創出。

公園ルールについて

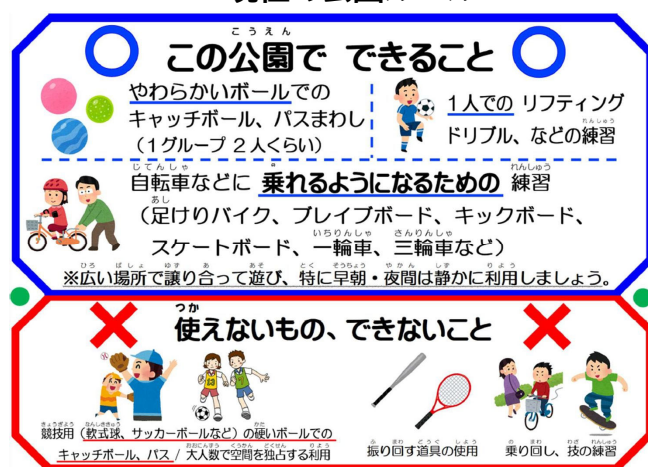
これまでのルールに加え、**舗装された園路**に限り、犬を連れてご利用いただけるようになります！

追加ルール



みんなが快適に過ごせるよう、リードの着用やマナーを守りましょう

～現在の公園ルール～



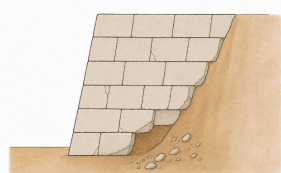
既設擁壁の改修工事について

公園北側にある擁壁については、設置から80年以上が経過しているため、再整備工事にあわせて更新を行います。

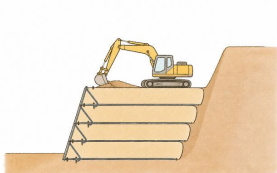
更新によるメリット

- ・地震や大雨に強い頑丈な作り
- ・土台をしっかり補強、崩れる危険を防止
- ・壁をスリムな構造にして公園の広場を広く活用

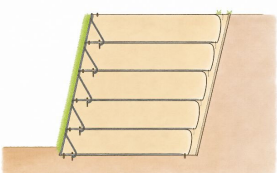
【改修前】



【工事中】



【改修後】



※イラストはイメージです。

公園の改修までの流れ

中央西公園における
今までの取り組み成果は
こちらから



これまでの取り組み

R6～7年度

R6年
7月

桃花小学校出張授業

桃花小学校3年生が公園プランの作成。

R6年
8月

オープンハウス(第1回)の実施

公園の現況と課題、将来像、ルールについて、現地で公園利用者の意見徴収。

●オープンハウスとは？

会場にパネル等で資料を展示し、区職員等が直接説明するイベントのことで

R6年
8～9月

アンケートの実施

桃花小学校全学年、認可保育園関係者、近隣住民の方に公園利用や満足度についてアンケートを実施。

R6年9月
～
R7年1月

ワークショップの実施

地域住民の方々と3回ワークショップを実施。将来像やゾーニング等を考え、ワークショップ改修案を完成。

●ワークショップとは？

参加者全員が主体となって発言したり積極的に行動して、共に何かを学びあったり、作り出したりする検討スタイルのことをいいます

R7年
7月

既存擁壁の改修設計

近隣の皆さまと公園の安全を守るため、公園北側にある現在の壁(擁壁)をより頑丈な構造へ改修する設計を実施。

今回

オープンハウス(第2回)の実施

今回のオープンハウスでは、改修プランをより魅力的なものにするために、導入する遊具等の施設についてみなさんのご意見をお聞かせいたします。

R8年度

工事を行うための
詳細な設計
(実施設計)

R9年度(予定)

改修工事

R10年度末(予定)

公園の
リニューアル
オープン